

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

1. 評価の概要

本報告書は、科学技術振興機構の地域研究開発促進拠点支援(通称RSP: Regional Science Promotion Program)事業(研究成果育成型)について、科学技術振興機構に設置された地域振興事業評価委員会によって行われた評価結果である。

評価等の具体的内容は以下のとおりである。

2. 事業の概要

(1) 目的・趣旨

「地域の限られた科学技術資源を有効に活用して研究開発を行うためには、その触媒役というべき優れたコーディネータの存在が不可欠である。コーディネータの役割は、優れた研究シーズとニーズの発掘・結合、優秀な人材の確保、適切な研究チームの組織、資金の調達等多岐にわたる。コーディネータにはこれら高い能力が求められ、地域はこうした優れた人材の育成・確保に努める必要がある。」

本事業は、上記の科学技術会議第22号答申を受け、地域のニーズをふまえた地域内外の人材をコーディネータとして育成しながら、コーディネート機能の充実に資する地方公共団体の取り組みを支援し、文部科学省や科学技術振興機構等の諸制度を効果的に活用しつつ、地域における科学技術振興と新技術・新産業の創出を図ることを目的に、平成11年度から開始された。

本事業においては、各地域における独自の新技术による新規事業の創出に資するため、地域研究開発促進拠点支援事業(ネットワーク構築型)等で地域に既に整備されている産学官のネットワークを活用して、大学等との連携強化のための拠点を形成するとともに、各地域における大学等の研究成果を育成し、実用化につなげるための体制整備の促進を図ることを目的としている。

本事業の終了後は、地域に形成されたコーディネート機能を都道府県が継承し、地域における科学技術の振興と地域経済の活性化、生活の質の向上、知的資産の拡充等に向けた活動が展開されることを期待している。

(2) 事業概要

i) 都道府県からの申込を受け、文部科学省が本事業を実施する都道府県及び地域研究開発促進拠点(連携拠点機関:地域における科学技術振興のための財団等)を選定。

(平成13年度より科学技術振興機構による選定に変更)

ii) 科学技術振興機構は、連携拠点機関に対し科学技術コーディネータを委嘱。

科学技術コーディネータは次の事業メニューを行う。

- ① 大学等の研究成果の調査と情報の整理
- ② 企業ニーズの調査と情報の整理
- ③ 大学等の研究成果の実用化の可能性評価
- ④ 企業ニーズを踏まえた研究成果育成計画の作成と育成試験の実施
- ⑤ 技術移転関連の諸事業への橋渡し
- ⑥ 他地域との交流・業務連携

(3) 事業費

1地域当たり年間7.0千万円程度(人件費含)

(4) 事業実施期間

5年間(原則)

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

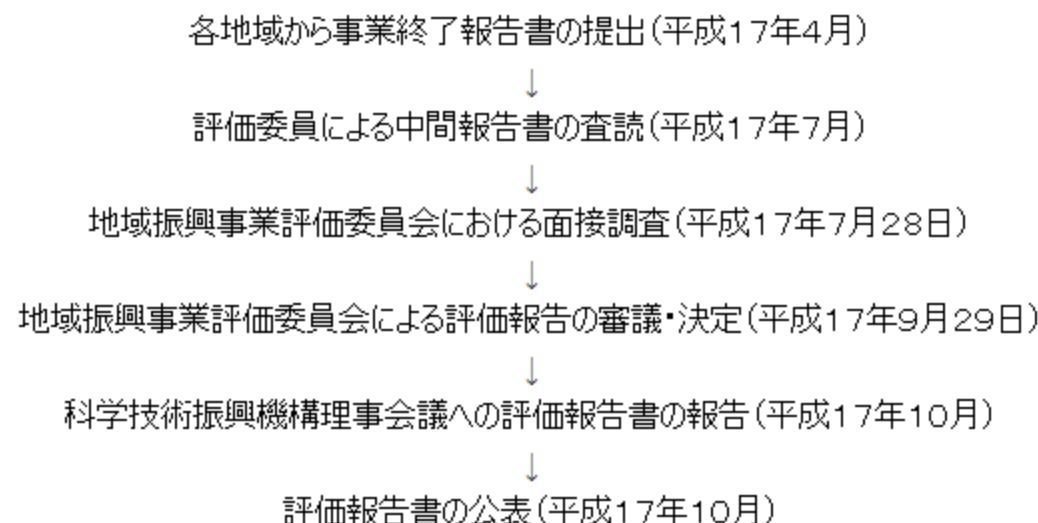
3. 評価実施方法

本評価は、科学技術振興機構の地域研究開発促進拠点支援(RSP: Regional Science Promotion Program)事業(研究成果育成型)について、平成12年度に事業を開始し、平成16年度に終了した4地域を対象として、科学技術振興機構に設置された地域振興事業評価委員会によって行われた事後評価である。評価結果は、地域から提出された事業終了報告書および平成17年度第1回地域振興事業評価委員会(平成17年7月28日開催)において行われた面接調査結果にもとづき、とりまとめたものである。

評価の観点は、次のとおりである。

- ① 大学等との連携状況
- ② 事業の成果及び波及効果
- ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績
- ④ 今後の展開の見通し

<評価のプロセス>



地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

4. 地域ごとの評価

(1) 岩手県

連携拠点機関：財団法人いわて産業振興センター
科学技術コーディネータ：丹野 和夫(代表)、大島 修三、阿部 四朗、猪狩 征也
事業実施期間：平成12年度～平成16年度

① 大学等との連携状況

科学技術コーディネータが大学のみならず、多くの研究機関の研究者と直接面談する手法により、県外を含む多くの研究機関から詳細で精度の高いシーズを収集したことは十分評価できる。また、コーディネータ機能強化のため、コーディネータ1名を首都圏に配置し、活動したことの意義も大きく、今後の広域連携への取り組みにも期待したい。

② 事業の成果及び波及効果

育成試験65件、特許出願76件、諸事業への橋渡し46件などの活動実績は評価でき、収集した企業ニーズは必ずしも多くはないが、具体的ニーズのある課題を設定し、質の高い育成試験を行ったことにより、優れた成果が得られており、その波及効果は極めて高い。今後も、新産業への展開に繋がる活動に期待する。

③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

実用化6件、商品化11件、起業化7件など実績が豊富である。商品化例の中には健康食品や産業廃棄物の有効利用など、社会的ニーズの高いものがあり、数・内容共に十分な実績と評価できる。また、諸事業への橋渡し実績46件は特に顕著であるといえる。今後のさらなる事業展開により、実用化が促進されることを期待する。

④ 今後の見通し

次世代コーディネータの育成など、県としてのコーディネータ機能の拡充に努めており、RSP事業終了後も研究開発コーディネータ機能を継続していくための県単独事業の「産学官連携機能強化促進事業」を平成17年度に創設するなど、県の取組も積極的である。今後、(財)いわて産業振興センターを中心に大学やJSTサテライト岩手との連携が維持・強化され、成果の全国展開も含めた一層の実用化・企業化が実現することを期待する。

⑤ 総合評価

具体的ニーズのある課題の設定など、明確な理念・方針に基づいた活動が展開され、多数の成果を上げており、コーディネータの役割、必要性を明確に示した成功例と言える。また、コーディネータの育成や県単独事業の創設など、県としての取り組みも高く評価でき、今後のさらなる発展に期待する。

(2) 山形県

連携拠点機関：財団法人山形県産業技術振興機構
科学技術コーディネータ：石山 浩章(代表)、磯部 豊、浦山 隆、佐藤 秀夫
事業実施期間：平成12年度～平成16年度

① 大学等との連携状況

山形大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー内に連携拠点機関の分室を設けるなど、山形大学との連携については努力と一定の成果が認められる。しかし、山形大学以外との連携では大きな成果は出ておらず、今後は、他の大学や高専との連携を強化し、シーズ発掘についての戦術を再検討することが必要である。

② 事業の成果及び波及効果

シーズ・ニーズ調査の実績は1,400件を超えており、コーディネータの努力は評価できる。また、育成試験成果発表会の回数及び参加者が年ごとに増えていることから、コーディネータ活動の定着が認められる。しかしながら、シーズからニーズへの結びつきが少ないことから、企業ニーズの調査の内容が十分でなかった可能性があるため、今後は中小企業を中心として、内容を重視した戦略的アプローチが求められる。

③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

商品化8件、実用化8件、起業化2件の成果の件数のみならず、販売まで発展していることは、コーディネータの実績として評価できる。ただし、諸事業への橋渡しは低調であるため、今後は成果を次の事業につなげて育成していくことも必要であると思われる。

④ 今後の見通し

(財)山形県産業技術振興機構内に県独自予算で確保される産学官連携コーディネータが主導して外部資金獲得の促進を図るなど、産学官連携の機能強化の姿勢は評価できる。しかしながら、将来の戦略については今後の検討課題ということであり、RSP事業の成果を中小企業育成と産業振興にどうつなげていくかが不明確である。コーディネータが2名減の2名体制となることを考慮すると、今後、重点領域の整理が必要である。

⑤ 総合評価

中間評価以後、医療・福祉分野へのアプローチが拡大し、多様な実用的成果も挙がっており、コーディネータ活動の実績として評価できる。しかしながら、農の分野の発展があまり見られず地域の特質を生かしてきていないなど、ネットワーク構築型のRSP事業から提唱している「テクノマルッジ」(分野、業の枠を超えた融合)のコンセプトが十分に反映された成果には至っていない。今後、地域の特色を生かしつつ、蓄積されたノウハウとネットワークをどう生かしていくかが課題であり、県のサポートも期待したい。

(3) 神奈川県

連携拠点機関：財団法人神奈川高度技術支援財団
科学技術コーディネータ：廣田 穰(代表)、前田 敏弘、宮川 政義、陳 善忠
事業実施期間：平成12年度～平成16年度

① 大学等との連携状況

豊富な大学群を持つ強みを生かし、県内の多くの大学からシーズを収集するなど、コーディネータ活動を展開したことは評価できる。特に、TLOを持たない大学に対する特許出願支援等の知的財産に関連する支援活動は、連携強化につながるものと期待できる。今後は、ポテンシャルが高い地域特性を十分に活用して、連携が継続することを期待する。

② 事業の成果及び波及効果

大学等の研究ポテンシャルの高い地域特性を活かして、産業界が必要とする実用化レベルを考慮した試験研究を実施したことは評価できる。また、コーディネータ機能をTLO機能等の整備により強化したことも評価できる。今後、波及効果を大きくしていくためには、大学の事業化意識の底上げ並びに企業との連携の強化も期待する。

③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

実用化4件、商品化8件、起業化7件の実績をあげているものの、地域のポテンシャルを考慮すると、より大きな成果が期待される。今後、更に実績を向上させるためには、諸事業への橋渡しに向けた継続的なコーディネータ活動、幅広いニーズの取り込み、市場の大きさを考慮してそれに見合う規模の企業への技術移転が必要である。

④ 今後の見通し

本事業を引き継ぐような研究支援事業および知的財産活用促進コーディネータ事業を新設しており、今後の展開に期待できる。産業振興政策を担ってきた(財)神奈川高度技術支援財団と科学技術振興政策を担ってきた(財)神奈川科学技術アカデミー(KAST)が統合されて新生KASTとなることで、種々の事業を総合的に行える体制が構築されて、本事業の理念が引き継がれコーディネータ機能が維持・発展されることに期待する。

⑤ 総合評価

本事業を引き継ぐような体制が構築され、また、コーディネータ活動に対しての工夫や提言を行うなど、本事業への真摯な取り組みが感じられる。しかしながら、ポテンシャルが高い地域特性を十分に活用しているとは言えないため、今後は、地域の特徴を踏まえた戦略を策定してコーディネータ機能を整備していく必要がある。

(4) 静岡県

連携拠点機関：財団法人しずおか産業創造機構
科学技術コーディネータ：吉田 勝治(代表)、大隅 安次、八十 昌夫、横井 勝之
事業実施期間：平成12年度～平成16年度

① 大学等との連携状況

大学へ個別訪問してシーズ発掘に努力した点は評価でき、大学における知的財産に対する意識を高め、産学連携の土壌を形成することに寄与できたといえる。今後は大学側の関わりをさらに盛んにするために、静岡大学のイノベーション共同研究センターと連携する等、一層の活動が求められる。

② 事業の成果及び波及効果

育成試験の課題選定を公募制にしたことは、公平さはあるものの、目利きとしてのコーディネータの能動性に欠けるところがある。また、企業ニーズを把握しているという民間企業出身者のコーディネータの特徴を活かした成果というものが明確には現れていない。今後は、(財)浜松テクノポリス推進機構等の従来からある産学連携のインフラを活用し、企業ニーズの把握を強化して事業化への見通しを明確にすることが必要である。

③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

61件の育成試験に対して、実用化2件、商品化3件、起業化1件の成果は十分な数とは言えず、内容も小粒で市場性が今一つである。今後は、企業ニーズを把握した上で、地域のポテンシャルを活用するようなコーディネータ活動と、県のコーディネータ活動への支援を期待する。

④ 今後の見通し

(財)しずおか産業創造機構が拠点機関となり、コーディネータ協議会を組織化し、県単独予算でコーディネータを確保し、県内の産学公連携を進める等、コーディネータを今後も重視する姿勢は評価できる。今後は、コーディネータの一層の主体的な活動と、開発された成果の活用に対する県としての方針の明確化が求められる。

⑤ 総合評価

静岡県という産学のポテンシャルの高い地域の割には成果は十分とは言えない。今後は県東部、中部、西部の3地域における高い産学のポテンシャルを一層活用する取り組みが求められる。また、若いコーディネータを登用するなど、目利きとして事業化を仕掛けていくコーディネータの積極的な活動に期待する。

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書を基に事務局作成)

(1) 成果一覧

	岩手県	山形県	神奈川県	静岡県
コーディネート実績件数				
・研究シーズに対して	1040	995	368	387
・企業ニーズに対して	133	425	238	137
新技術説明会	6	11	18	5
育成試験	65	51	56	61
他の事業への展開	46	15	17	19
(文部科学省関係)	8	2	9	4
(経済産業省関係)	22	4	8	6
(その他省庁関係)	0	1	0	3
(その他県単独事業等)	16	8	0	6
実用化	6	8	4	2
商品化	11	8	8	3
起業化	7	2	7	1
特許出願件数	76	23	33	44
論文発表	74	18	147	134
(国内)	42	11	95	25
(国外)	32	7	52	109
学会発表	209	81	323	313
(国内)	155	79	237	221
(国外)	54	2	86	92

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

① 育成試験等テーマ名(カッコ内は実施年度)

地域名	テーマ名
岩手県	金型の微細研削・研磨技術の開発(H12)
	炭化珪素の微細加工に関する研究(H12)
	炭焼き釜エキスパートシステムの開発(H12)
	ワイヤーカット放電加工機用金型の腐食防止方法(H12)
	大規模森林景観のリアルタイムレンダリング法の開発(H12)
	3次元ボリュームデータ処理の開発(H12)
	次世代インターネット・セキュリティ強化装置の開発(H12)
	脳の血管病変の非侵襲的診断法の開発(H12)
	肺成熟度判定装置(マイクロバブルカウンター)の開発(H12)
	循環器疾患の特定化研究(H12)
	歯科領域における触診圧検出装置の開発試験(H12)
	手操作電動鉗子による腹腔鏡下縫合システムの開発(H12)
	雑穀の食品機能性研究と新食品開発(H12)
	麻痺性貝毒の簡易測定法の開発(H12)
	産業廃棄物の建設材料への利用化研究(H12)
	金型防食技術の開発(H13)
	機能性セラミックスの微細加工の応用に関する研究(H13)
	新しい赤外分光分析法の開発とその応用(H13)
	高品質酸化物薄膜用基板の開発(H13)
	次世代準単色X線高分解能透視・撮影システム(H13)
	足踏み動作を利用した仮想空間歩行による在宅訓練装置の開発(H13)
	融接法による縫合システムの開発(H13)
	循環器疾患の特定化研究(H13)
	雑穀の食品機能性の解明と新健康食品の開発(H13)
	昆虫機能物質の解明とその利用(H13)
	ウシの超早期妊娠因子の簡易測定法の開発(H13)
	コンクリート及びアスファルト混合物への無機系産業廃棄物の利用化研究(H13)
	木材の温泉水前処理に基づく活性化木炭の開発(H13)
	電気粘性流体援用マイクロ非球面研磨(H14)
	大型超精密加工面計測のための高精度2次元角度センサに関する研究(H14)
	熱電材料・素子の新しい作成法の開発及び熱電特性の評価(H14)
	耐熱性エポキシ樹脂の実用化(H14)
	高性能酸化物薄膜化触媒材料の開発(H14)
	考古遺物形状のデジタル計測・図化システムの開発(H14)
	ホームページ改竄者捕捉に関する研究(H14)
	可搬型高性能X線装置の応用に関する研究(H14)
	循環器疾患の簡易特定化法に関する研究(H14)
	がんの新規分子標的治療に関する研究(H14)
	昆虫機能物質の解明・権利化と利用(H14)
	ウシの超早期妊娠診断法の開発(H14)
	サケの未利用部位を活用するエゾアワビの成長促進技術の開発(H14)
	魚類の脳下垂体系ホルモンと食欲・成長との関連の解明・利用(H14)
	金属スクラップからの有価金属の分離・回収(H14)
	コーラゲントリペプチド製造のための酵素固定多孔性膜の開発(H15)
	効率的な考古遺物の三次元形状計測手法の開発(H15)
	セキュアプロセッサの開発(H15)
	X線透視像3次元CT画像を組み合わせた膝関節動作解析システムの開発(H15)
	新エンドトキシン組合せ定量法による敗血症の重症度判定法の開発(H15)
	ELISAキットの安定供給を可能にする麻痺性貝毒の抗体開発(H15)
	サケの未利用部位を高度有効活用したエゾアワビの高品質化・陸上養殖技術の開発(H15)
	冷水性高級魚マツカワの肥育技術の開発(H15)
	PET製X線写真フィルムの油化と銀回収(H15)
	畜産排せつ物の処理技術の開発(H15)
	維持管理不要な溪流魚道構造の開発(H15)
	遠心力を利用した向流クロマトグラフの開発(H16)
	高速同定アルゴリズムにおけるJ-ユニタリ変換手法の適用(H16)
	スパッタ法によるナノ制御したZnO薄膜作製技術の開発(H16)
	ユビキタス認証チップの開発(H16)
	銅電極の超広帯域弾性表面波デバイス(H16)
	くも膜下出血の診断支援システムの開発(H16)
	浮遊細胞培養技術を用いるウイルスワクチンの作製(H16)
	人工膝関節の術前措置システムの開発(H16)
	慢性炎症に対する牛乳由来ラクトフェリンの治療効果(H16)
	尿分泌タンパク質の発現系を利用した有用タンパク質の生産システムの開発(H16)
	木材を利用した排水中空素分の微生物除去(H16)

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

① 育成試験等テーマ名(カッコ内は実施年度)

地域名	テーマ名
山形県	高性能リチウムイオン2次電池の開発(H12)
	有機・無機ハイブリッド機能性高分子の開発(H12)
	RBセラミックスのマシナビリティ(H12)
	産業廃棄物による多孔体の試作と適用(H12)
	鉱山廃水から分離した酵母による水処理及び分離酵母の培養技術(H12)
	医療・介護におけるクリニカルパスの電子システムの開発(H12)
	自律分散ネットワーク機器の試作(H12)
	アーバスキュラー(AM)菌根共生系を利用した作物生産(H13)
	有機包括シリケート系エコ・マテリアルの創製(H13)
	回収PETボトルの有効資源化技術の開発(H13)
	高溶解張力化マスターバッチ樹脂組成物の開発(H13)
	クリニカルパスを活用した診断・看護支援機器の開発(H13)
	シクロデキストリンを用いた果汁成分の粉末化(H13)
	パルス電解法による光触媒を有する金属メッキ膜作成法の開発(H13)
	RBセラミックスのマシナビリティ(II・研削特殊加工)(H13)
	県産食用菊ハウス高度利用栽培法の開発(H13)
	モクズ蟹養殖システムの開発(H13)
	小型風力発電の新しい地域利用に関する研究(H14)
	汎用性を有する簡易雪室の開発と活用方法(H14)
	魚箱のリサイクルに関する研究(H14)
	有機電解による生体材料金属の粗面化(H14)
	フィジカルアセスメント教育シミュレーター用脈拍発生装置の開発(H14)
	臼式特殊粉碎機を用いた農業系廃棄物の粉碎・混練・附形同時成形技術の開発(H14)
	走行安定性に優れた小型牽引車用新規ジョイントの開発(H14)
	ETC誤作動防止用電波吸収パネルの開発(H14)
	プラスチック発泡成形技術を活用した食品開発(H14)
	精密な湿度センサーの開発と製麺工程への応用(H14)
	地域作物から生理活性物質の探索(H14)
	光ヘテロダイン法を用いた研削砥石の精密形状計測法の開発(H14)
	複合材料を用いた新構造体の開発(H14)
	ESRを用いた有用ポリフェノール種の検索方法の確立(H14)
	再生ペットボトル材料の発泡成形技術の開発(H15)
	包接化合物を利用した有機物質の選択的抽出・除去法の開発(H15)
	高効率パルスパワー放電分解廃水処理装置の開発(H15)
	天然食品ゲル素材を用いた多孔質膜の製造と機能性食品の輸送担体への応用(H15)
	稲の食味を刈り取る前に推定する計測機器の開発(H15)
	可搬式簡易雪室の開発(H15)
	次世代金型用鋳鉄材料の開発(H15)
	天然繊維と生分解性繊維による新素材系及びニット技術の開発(H15)
	複合材料を用いた新構造体の開発(H15)
	ボディスーツ型心拍・呼吸モニターの開発(H15)
	スギアレルゲンCryj1の高感度測定系の開発(H16)
	高導電率を有するポリアリロンのエレクトロニクス素子への応用(H16)
	ベントナイトケイ酸資材、客土剤同時使用の可能性に関する研究(H16)
	MEMS型2軸光スキャナの開発(H16)
	地域未利用資源からの新規食品素材の開発(H16)
	超音波効果を利用した低歪エポキシ樹脂電子部品の製造技術の開発(H16)
さくらんぼ酵母及び黒米を用いたアルコール飲料の開発(H16)	
鶏卵の性鑑別法の開発(H16)	
気管支用内視鏡融合コーレンス断層画像測定装置に関する研究(H16)	
MR流体負荷器を活用した下肢リハビリ用筋力評価・訓練システムの開発(H16)	

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

① 育成試験等テーマ名(カッコ内は実施年度)

地域名	テーマ名
神奈川県	抗体親和等電点電気泳動法による前立腺癌鑑別とその有用性の研究(H12)
	原料液体輸送法を用いた新MOCVD法の開発(H12)
	新切削法"一発大荒カケ上がり加工"による高硬度材、難削材の加工条件の研究(H12)
	DBFアレーンテナによるリアルタイム到来方向推定処理技術とその応用(H12)
	高分解能X線顕微鏡の開発(H12)
	酵素触媒を用いる水溶性ポリマー合成法の開発と高機能性素材創出への応用(H12)
	高強度新炭素材料の開発(H12)
	誘電分光法を用いた構造水緩和の観測によるコンクリート強度診断法の開発(H12)
	高強度、高耐水性を有する新規有機・無機複合材料の開発と応用(H12)
	専門知識学習・思考型ハイパーブレインシステムの開発 - 脳型意味記憶構造シミュレータの設計・開発(H12)
	環境対応型超低燃費高出力エンジンシステムの研究(H13)
	大規模光波ネットワーク用ルーティングフィルタ回路の開発(H13)
	新しいホウ素化合物半導体アンチモン化ホウ素(B5b)薄膜の新機能創出(H13)
	胚性幹細胞由来神経幹細胞、軟骨細胞の移植に関する基礎的・臨床的検討(H13)
	呼吸複合センシングによる歯周病診断システムの開発(H13)
	生産機械のマイクロ化に関する研究(H13)
	周波数ハイブリッドベクトル制御法の装置化に関する研究(H13)
	窒化ガリウム粉体合成装置の開発(H13)
	超音波モータを用いたマスター・スレーブ型バーチャル触覚呈示ハンドの研究(H13)
	無電解ニッケル合金メッキによるナノメーターオーダーのバリアメタル形成(H13)
	電気浸透流を駆動力としたカセットテープサイズのポンプ(H13)
	拡散スクラバー法を用いた空気清浄技術と計測技術の開発(H13)
	フォトンモード 光記録に用いるフォトクロミック材料の開発(H14)
	動脈硬化粥腫に対する光線力学的治療(H14)
	ティッシュエンジニアリングによる組織再生の基礎的、臨床的研究(H14)
	リアルタイム4次元(XYZt)立体動画像観察システムの開発(H14)
	マイクロ工作機械用スピンドルの回転精度評価法に関する研究(H14)
	ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発(H14)
	新規画像形成法を基盤とするポリマー光導波路の開発(H14)
	ソフトコンピューティング手法を用いた画像処理による移動体交通環境認識システムの開発(H14)
	水の運動エネルギーを利用して駆動する超精密スピンドル装置の開発(H14)
	機能的電気刺激による片麻痺患者の歩行再建(H14)
	新規電子移動触媒による殺菌・消臭装置の開発(H14)
	局所表面プラズモンを使った高密度バイオセンシングシステム(H14)
	Notch1を創薬ターゲットとした抗リウマチ薬の開発(H15)
	実時間多点同時計測レーザー振動計の開発(H15)
	ポリイポイド前駆体を用いた窒化アルミニウム多孔体の開発(H15)
	IT部品加工用ダイヤモンド多刃工具の開発(H15)
	血中C型肝炎ウイルスの捕獲(H15)
	水駆動による高性能小型スピンドル装置を用いた超精密メゾスケール部品創生用加工システムの試作(H15)
	小型高推力スライダルモータの開発(H15)
	低抵抗ITO透明導電膜のナノ構築(H15)
	マイクロマシニングセンタ用自動工具交換対応型工具クランプ装置の開発(H15)
	機能性高分子による防食被覆膜の開発と防食方法(H15)
	機能性微粒子衝突法による工具用硬質膜の特性向上に関する研究(H15)
	マイクロATCシステムの開発及びマイクロマシニングセンタの試作(H16)
	血管炎診断のための抗ペルオキシレドキン抗体検出系の確立と普及(H16)
新規画像形成法を基盤とするブラックマトリクス用感光性樹脂の開発(H16)	
細胞診用超微細医用鉗子の製作(H16)	
遺伝子発現のリアルタイムモニタリング技術を活用した生細胞マイクロチップの開発と創薬への応用(H16)	
環境低負荷なβ-FeSi2薄膜を用いた太陽電池の開発(共同研究)(H16)	
環境低負荷なβ-FeSi2薄膜を用いた太陽電池の開発(共同研究)(H16)	
生体親和性磁性ナノ・マイクロ粒子の製造法開発と実用化の研究(H16)	
環境応答型吸着剤の開発(H16)	
電場のON/OFFで水溶液中の極微量物質を捕捉 - 放出できるピンセット機能の創製(H16)	
非発光時に透明な有機ELの作製(H16)	

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

① 育成試験等テーマ名(カッコ内は実施年度)

地域名	テーマ名
静岡県	セキュアな医用画像コラボレーションシステムの実用化研究(H12)
	ZnOを用いる大面積ELディスプレイの作製(H12)
	バイオフィウリング防止用電子制菌システム(H12)
	気相拡散プロセスによるキャパシタ用複合電極新設計法の開発と評価(H12)
	製紙汚泥を原料とした生分解性プラスチックの製造(H12)
	個別対応型三次元血管モデルの作成(H12)
	結核、悪性腫瘍の治療に有効なキラーT細胞誘導型DNAワクチンの開発(H12)
	光音響分光法を用いた海苔の非破壊検査法の確立(H12)
	混合焼結法による透水性軽量建材の開発(H12)
	インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発(H12)
	慢性肝炎の特異的診断薬の開発(H12)
	木材など軟質材料の切断加工におけるゼロエミッション化(H13)
	エポキシ溶解を利用したFRP複合材料のリサイクル法の検討(H13)
	環境調和型酸化反応の開発とその応用(H13)
	プログラム教育支援システムの開発と評価(H13)
	新規育毛剤の開発(H13)
	キトサンコーティング法による新規材料の開発(H13)
	個人携帯可能な医療情報用超薄型超高密度DVD方式光カード媒体と応用ソフト開発(H13)
	放射性亜鉛を用いた新規脳腫瘍画像診断薬剤の開発(H13)
	光音響法による食品(ノリ、チャ、コメ)の非破壊検査法の確率(H13)
	フラレン・ナノチューブの原材料であるグラファイトの代替材料での高効率合成法の確立(H13)
	長期保存病理検体の染色体解析の新技術について(H13)
	チャコール・コンクリートの開発(H13)
	沿岸環境調査用自律型海中ロボットの水中位置特定手法の開発(H13)
	小型・軽量全方向移動電動車椅子の開発(H14)
	回収古紙PS灰を原料としたゼオライト合成と土壌および水質改良材への応用(H14)
	レクチン反応に基づくグリコプロテオーム解析(H14)
	環境調和型有機合成反応の開発とその応用(H14)
	マイクロ波プラズマを用いた高速滅菌技術の開発(H14)
	大規模災害対策用人工呼吸機器の開発(H14)
	加工用形状モデルカーネルの開発に基づく高速高精度加工CAMシステムの構築(H14)
	特異機能性蛋白質レギュカルチントランスジェニックラットの病態モデル動物としての医薬品開発への応用(H14)
	新規食品素材としての生竹微粉碎パウダーの利用と生理機能に関する研究(H14)
	ヨウ化銅を用いる固体型色素増感太陽電池の高効率化(H14)
	圧覚と滑り覚の同時呈示による仮想現実感(H14)
	脳の発育ならびに健脳維持におけるがりの有用性(H14)
	血液流動性の定量的評価装置の開発(H14)
	遺伝的アルゴリズムを用いたアンテナの設計(H15)
	食用キノコからの機能性物質の探索とその応用展開(H15)
	キトサンを原料とした生体と環境に優しい高分子界面活性剤の開発(H15)
	光ファイバを用いた直視型超大画面ディスプレイの実用化研究(H15)
	黒館柏由来セルロースに特異的な好熱性セルラーゼを用いた黒館柏有効利用法の開発(H15)
	リサイクル原料から合成したゼオライトのイオン交換特性と吸着特性(H15)
	情報家電のアクセシビリティを支援するスピーチサーバーの開発(H15)
	高密度DVD+RW実用形0.7mm厚光カード少量試作と医療現場フィールド実験(H15)
	パワーヒートパイプの基本原理の解明とその応用(H15)
	統合失調症のtrait markerの血液中からの検索について:ApoER2のK variantとVLDLRにおける統合失調症の診断の可能性について(H15)
看護の現場における患者が必要とするコミュニケーションロボット開発の基礎的調査とコミュニケーションロボ(H16)	
巨大横効果圧電性をもつPb[(Zn1/3Nb2/3)0.91Ti0.09]O3単結晶を利用した新規圧電デバイスの開発(H16)	
ドーム型超大画面ディスプレイの実用化研究(H16)	
窒化物半導体による青色・深紫外ナノ蛍光体の開発(H16)	
森林微生物およびその酵素による環境ホルモン類の分解と無毒化(H16)	
白血病細胞の抗がん剤に対するin vitro感受性試験の基盤整備と普及に関する研究(H16)	
指接触入力システムの研究(H16)	
フグDNA鑑定法の検討(H16)	
腫瘍新生血管傷害遺伝子治療を目的とした新規機能性リボソーム製剤の開発(H16)	
分子マーカーによる花菜類の花芽誘導迅速予測技術の開発(H16)	
シリコン中の鉄不純物マッピング測定のための顕微メスパウア分光装置の開発(H16)	
ペーパーラッジ由来セルロースに特異的な熱安定セルラーゼを用いたペーパーラッジの資源化(H16)	
孟宗竹マイクロパウダー由来の抗MRSA活性物質(H16)	
マイクロ波プラズマを用いる樹脂製包装容器内滅菌に関する研究(H16)	

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2) 地域への活動実績 の誌事業に展開した例

岩手県

(1) 文部科学省関係

事業名	: 独創的研究成果共同育成事業
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 2,100万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「次世代における疑似3次元レーザ発生装置と3次元撮影システム」
研究者	: 佐藤英一(岩手医科大学教養部教授)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: 独創的研究成果共同育成事業
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 2,300万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「環境評価システムを備えた遠心力分散試験装置の開発」
研究者	: 大野正文(岩手大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、RSP可能性試験

事業名	: 新規事業志向型研究開発成果展開事業(プレベンチャー事業)
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 24,000万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「形状記憶合金コイルを用いた能動チューブ他マイクロマシン技術」
研究者	: 江刺正喜(東北大学未来科学技術共同研究センター教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、MEMS調査

事業名	: 研究成果最速移転事業(プログラムB:独創モデル化)
事業主体	: 科学技術振興事業団(独)科学技術振興機構
予算規模	: 400万円
事業期間	: 平成14,15年度
基になった研究シーズ	: 「3次元ボリューム処理ソフトウェアに関する研究開発」
研究者	: 土井章男(岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験、平成13年度研究開発助成事業(財団)

事業名	: 研究成果最速移転事業(プログラムC:プレベンチャー)
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 経団
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「産業用リアルタイムCT技術」
研究者	: 田山典男(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 事業化可能性試験(研究成果活用プラザ宮城)
事業主体	: (独)科学技術振興機構
予算規模	: 200万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「有機半導体の性能向上のための高品質薄膜作製技術の開発」
研究者	: 吉本則之(岩手大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 事業化可能性試験(研究成果活用プラザ宮城)
事業主体	: (独)科学技術振興機構
予算規模	: 200万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「次世代医用高精度単色X線装置」
研究者	: 佐藤英一(岩手医科大学教養学部)
基になったRSP活動	: 平成13,14年度育成試験

事業名	: 都市エリア産学官連携促進事業
事業主体	: 文部科学省
予算規模	: 26,000万円
事業期間	: 平成16～18年度
基になった研究シーズ	: 「医療用デバイスを目的としたニッケル系高機能・高生体適合性「新」Co-Cr-Mo合金」
研究者	: 千葉晶彦(岩手大学工学部 教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、RSP可能性試験、財団の研究開発支援事業

(2) 経済産業省関係

事業名	: NEDO産業技術研究助成事業
事業主体	: 新工業ルネー産業技術総合開発機構
予算規模	: 4,000万円
事業期間	: 平成12～14年度
基になった研究シーズ	: 「炭化珪素の微細加工に関する研究」
研究者	: 田中秀治(東北大学大学院工学研究科助教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 即効型地域新生工ノシーム研究開発事業(一般枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 7,013万円
事業期間	: 平成13～14年度
基になった研究シーズ	: シーズ調査、新産業創造技術研究開発(県単独事業)
研究者	: 堀江浩(岩手大学工学部 教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、新産業創造技術研究開発(県単独事業)

事業名	: 即効型地域新生工ノシーム研究開発事業(一般枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 6,704万円
事業期間	: 平成13～14年度
基になった研究シーズ	: 「廃棄超硬合金のサイクルによる再生超硬合金製造技術の開発」
研究者	: 中村満(岩手大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、H12研究開発支援事業

事業名	: 即効型地域新生工ノシーム研究開発事業(中小枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 2,870万円
事業期間	: 平成13～14年度
基になった研究シーズ	: 「生体適合性に優れたCo-Cr-Mo合金の高機能化による加工技術」
研究者	: 千葉晶彦(岩手大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査

事業名	: 即効型地域新生工ノシーム研究開発事業(中小枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 1,813万円
事業期間	: 平成13～14年度
基になった研究シーズ	: 「エレクトロラジアルクリーニングの開発」
研究者	: 清水友治(岩手大学工学部助教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 地域創造技術研究開発費補助金
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 870万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「肺サーファクタント測定装置」
研究者	: 千田勝一(岩手医科大学医学部 教授)
基になったRSP活動	: H12育成試験

事業名	: 地域プラットフォーム活動推進事業(商品化・事業化可能性調査事業)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 150万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「炭焼と釜エクスポートシステムの開発」
研究者	: 斎藤弘(岩手大学工学部 教授)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: 地域新生工ノシーム研究開発事業(中小枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 2,450万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「小型3Dプリンタ用減速装置の開発」
研究者	: 片野圭二(岩手県産学センター研究員)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 地域新生工ノシーム研究開発事業(中小枠)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 4,210万円
事業期間	: 平成14～15年度
基になった研究シーズ	: 「フッ化カルシウム汚泥のコンクリート混和剤への利用」
研究者	: 江東(イオン工業(株))
基になったRSP活動	: 育成試験

事業名	: 地域新規産業創造技術開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 1,600万円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 「1型高精度角度センサーの開発」
研究者	: 高橋(東北大学大学院工学研究科助教授)
基になったRSP活動	: H14育成試験

事業名	: 地域活性化創造技術研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 410万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「大型酸化物超電導薄層作成に関する研究」
研究者	: 道上洋子(有)鬼沢テクノロジ技術部長)
基になったRSP活動	: 平成13,14年度育成試験

事業名	: 創造技術研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 3,600万円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 「金型離型処理の耐久性向上に関する研究」
研究者	: 遠藤俊哉(株)ティアンドケー主任研究員)
基になったRSP活動	: シーズ調査

事業名	: 地域プラットフォーム活動推進事業(商品化・事業化可能性調査事業)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 150万円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 「産出情報データベース事業化の可能性」
研究者	: 千葉史(岩手大学工学部助手)
基になったRSP活動	: H14,15育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「触覚放電ツル-イング・ドレッシング装置に関する研究調査」
研究者	: 水野雅裕(岩手大学工学部助教授)
基になったRSP活動	: H12育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「コンクリートブロックの環境保全型緑化技術に関する研究調査」
研究者	: 佐々木秀幸(岩手県工業技術センター主任研究員)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「情報通信デバイスの製造にマルチ目的に有効な機能性感応膜を用いた濃度センサーに関する研究調査」
研究者	: 小田嶋次郎(一関工業工業専門学校教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「情報可視化手法を用いた3Dのインターネット検索に関する研究調査」
研究者	: 土井章男(岩手県立大学ソフトウェア情報学部 教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成13年度
基になった研究シーズ	: 「医療用3次元ボリューム処理ソフトウェアに関する研究調査」
研究者	: 土井章男(岩手県立大学ソフトウェア情報学部 教授)
基になったRSP活動	: H12育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「コム・プラスチック用有機無機ナノ複合材料架橋剤の製造に関する研究調査」
研究者	: 平原英俊(岩手大学工学部 講師)
基になったRSP活動	: シーズ調査

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 500万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「産出中の硝酸イオンの排出効率循環利用に関する研究調査」
研究者	: 成田榮一(岩手大学工学部 教授)、平原英俊(岩手大学工学部 講師)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 1,765万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「触覚放電ツル-イング・ドレッシング装置に関する研究調査」
研究者	: 水野雅裕(岩手大学工学部助教授)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: 課題対応技術革新促進事業(課題対応新技術調査事業)
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 2,655万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 「廃棄物を用いたコンクリート製品の環境保全型緑化技術に関する研究調査」
研究者	: 佐々木秀幸(岩手県工業技術センター主任研究員)
基になったRSP活動	: H13育成試験

(3) その他省庁関係

なし

(4) 都道府県単独事業およびその他事業

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,046万円
事業期間	: 平成15～17年度
基になった研究シーズ	: 「麻痺性貝毒で毒化した生鮮魚の助毒技術の開発」
研究者	: 佐藤英一(北里大学生学部)
基になったRSP活動	: シーズ調査、育成試験

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 878万円
事業期間	: 平成15～17年度
基になった研究シーズ	: 「魚類と環境に優しい養殖技術の開発」
研究者	: 高橋明彦(北里大学工学部助教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査、育成試験

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 2,657万円
事業期間	: 平成15～17年度
基になった研究シーズ	: 「脳血管疾患個別化医療に向けたバイオサイオ開発と個人情報管理端末開発研究」
研究者	: 小川篤(岩手医科大学医学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,260万円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 「高機能性金属系生体の構築とその複合技術の開発」
研究者	: 千葉晶彦(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,208万円
事業期間	: 平成15～17年度
基になった研究シーズ	: 「振動解析による脳血管病変の非侵襲的診断装置の開発」
研究者	: 安倍正人(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,744万円
事業期間	: 平成15～17年度
基になった研究シーズ	: 「昆虫生産物からの医薬品候補物質発見素材の応用開発」
研究者	: 鈴木幸一(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 平成13～14年度育成試験

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 770万円
事業期間	: 平成16～17年度
基になった研究シーズ	: 「次世代ロードバイク対応セキュリティ(保護)システムの開発」
研究者	: 吉田等明(岩手大学情報メディアセンター教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,382万円
事業期間	: 平成16～17年度
基になった研究シーズ	: 「木質粉砕物の圧縮による省エネ連続脱水装置の開発」
研究者	: 澤邊攻(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: 夢県土いっしょ戦略的研究推進事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 1,042万円
事業期間	: 平成16～18年度
基になった研究シーズ	: 「雑穀の食品機能性の解明と新健康食品の開発」
研究者	: 西澤直行(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: H12年度育成試験

事業名	: 緊急地域人材活用型実用化技術開発事業
事業主体	: 岩手県
予算規模	: 2,000万円
事業期間	: 平成14～15年度
基になった研究シーズ	: 「資源循環システムに基づく環境浄化用高性能木質炭化物の開発」
研究者	: 成田榮一(岩手大学工学部 教授)
基になったRSP活動	: H13育成試験

事業名	: (財)さんく基金調査事業
事業主体	: (財)さんく基金
予算規模	: 300万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「木屑液を用いた環境にやさしい木材保存処理法の開発」
研究者	: 澤邊攻(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: (財)さんく基金調査事業
事業主体	: (財)さんく基金
予算規模	: 150万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「鞋履有用部位の構出装置の開発」
研究者	: 島田重幸(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成14,15年度育成試験(北里大学)

事業名	: (財)さんく基金調査事業
事業主体	: (財)さんく基金
予算規模	: 140万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「単結晶シリコン基板の生産性・付加価値向上に関する研究」
研究者	: 道上修(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成13,14年度育成試験

事業名	: (財)さんく基金調査事業
事業主体	: (財)さんく基金
予算規模	: 100万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「酵素による水産バイオマス資源の有効利用と新規質マテリアルの創出」
研究者	: 戸谷一英(一関工業高等専門学校助教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: (財)岩手県学術振興財団助成対象事業
事業主体	: (財)岩手県学術振興財団
予算規模	: 685万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「新規分子レベルによる生体高分子構造、生体組織構築の解明に関する研究」
研究者	: 渡辺民朗(岩手県立大学社会学部教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査

事業名	: (社)日本鉄鋼協会「鉄鋼研究振興助成」
事業主体	: (社)日本鉄鋼協会
予算規模	: 100万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 「石炭の赤外、近赤外スペクトルによる化学情報解析」
研究者	: 貝原巴樹(一関工業高等専門学校物質化学工学助教授)
基になったRSP活動	: 研究シーズ調査、H13育成試験

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された中間報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

◎ 諸事業に展開した例

山形県

(1)文部科学省関係

事業名	: 研究成果最適移転事業モデル化
事業主体	: 科学技術振興事業団/(独)科学技術振興機構
予算規模	: 30,000千円
事業期間	: 平成15年度(1年)
基になった研究シーズ	: ETC誤作動防止用電波吸収パネル材料の開発
研究者	: 高橋隆一(株)アイジー技術研究所 安斎弘樹(鶴岡工業高等専門学校 助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「ETC誤作動防止用電波吸収パネル材料の開発」
事業名	: 都市エリア産学官連携促進事業
事業主体	: 文部科学省
予算規模	: 270,000千円(内本テーマ100,000千円)
事業期間	: 平成14年度～平成16年度(3年)
基になった研究シーズ	: 高性能リチウムイオン2次電池の開発 有機電解による生体材料金属の粗面化
研究者	: 仁科辰夫(山形大学工学部 助教授)、立花和宏(山形大学工学部 助手)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「高速電池リチウムイオン2次電池の開発」 平成14年度育成試験「有機電解による生体材料金属の粗面化」

(2)経済産業省関係

事業名	: 即効型中小企業地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 33,699千円
事業期間	: 平成14年度(1年)
基になった研究シーズ	: PET蘇生化プロジェクト
研究者	: 井上 隆(山形大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験「回収ペットボトル有効資源化技術の開発」
事業名	: 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 184,952千円
事業期間	: 平成15年度(1年)
基になった研究シーズ	: 高効率プラチナ有機EL素子の開発
研究者	: 城戸 淳二(山形大学工学部 教授)
基になったRSP活動	: シーズ調査及び橋渡し
事業名	: 中小企業地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 23,000千円
事業期間	: 平成16年度～平成17年度(2年)
基になった研究シーズ	: 複合材料を用いた新構造体の開発
研究者	: 片桐 鉄哉(株)片桐製作所 代表取締役
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験「複合材料を用いた新構造体の開発」
事業名	: 中小企業地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 23,000千円
事業期間	: 平成16年度～平成17年度(2年)
基になった研究シーズ	: 次世代金型用鋳鉄材料の開発
研究者	: 晴山 巧(山形県工業技術センター)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験「次世代金型用鋳鉄材料の開発」

(3)その他省庁関係

事業名	: (独)農業・生物系特定産業技術機構果樹研究所共同研究
事業主体	: (独)農業・生物系特定産業技術機構果樹研究所
予算規模	: 未定
事業期間	: 平成16年度～平成18年度(3年)
基になった研究シーズ	: アバースキュラー菌根共生系を利用した作物生産
研究者	: 俵谷 圭太郎(山形大学農学部 教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験 「アバースキュラー(AM)菌根共生系を利用した作物生産」

(4)都道府県単独事業およびその他事業

事業名	: 山形県中小企業創造技術研究開発費補助金
事業主体	: 山形県、経済産業省
予算規模	: 20,908千円
事業期間	: 平成13年度(1年)
基になった研究シーズ	: (株)ハイテックシステム
研究者	: 土屋 浩(株)ハイテックシステム代表取締役
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験「自律分散ネットワーク機器の試作」
事業名	: 山形県中小企業創造技術研究開発費補助金
事業主体	: 山形県、経済産業省
予算規模	: 5,700千円
事業期間	: 平成13年度(1年)
基になった研究シーズ	: 青木安全靴製造(株)
研究者	: 牧野 健一(青木安全靴製造(株) 技術開発部長)
基になったRSP活動	: ネットワーク型事業で展開したRBセラミックスの応用製品の開発に継続するコーディネート活動
事業名	: 山形県新分野探索研究事業
事業主体	: 山形県
予算規模	: 500千円
事業期間	: 平成13年度(1年)
基になった研究シーズ	: イースタン技研(株)山形工場
研究者	: 大滝 正太郎(イースタン技研(株)山形工場 CPC室長)
基になったRSP活動	: 平成12年度ニーズ調査活動に基づき、平成13年度独創的研究成果育成型事業にコーディネートし、不採択になった案件の当事業へのコーディネート活動
事業名	: 山形県企業振興公社地域技術助成金
事業主体	: 山形県、経済産業省
予算規模	: 3,000千円
事業期間	: 平成13年度(1年)
基になった研究シーズ	: (株)白田製作所
研究者	: 白田 良晴(株)白田製作所 代表取締役
基になったRSP活動	: ネットワーク型事業で展開したRBセラミックスの応用製品の開発に継続するコーディネート活動
事業名	: 山形県企業振興公社地域技術起業化助成金
事業主体	: 山形県、経済産業省
予算規模	: 3,000千円
事業期間	: 平成13年度(1年)
基になった研究シーズ	: イースタン技研(株)山形工場
研究者	: 大滝 正太郎(イースタン技研(株)山形工場 CPC室長)
基になったRSP活動	: 平成12年度ニーズ調査活動に基いた案件の公的事業へのコーディネート活動
事業名	: ニューウェーブ研究創出事業費補助金
事業主体	: (財)山形県産業技術振興機構
予算規模	: 1,000千円
事業期間	: 平成16年度(1年)
基になった研究シーズ	: 超微粉砕加工による新規食品の開発
研究者	: 飛塚 幸喜(山形県工業技術センター 専門研究員)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験「シクロデキストリンを用いた果汁成分の粉末化」
事業名	: ニューウェーブ研究創出事業費補助金
事業主体	: (財)山形県産業技術振興機構
予算規模	: 1,000千円
事業期間	: 平成16年度(1年)
基になった研究シーズ	: 包接性高分子を用いた有機物質検出システムの開発
研究者	: 幅上 茂樹(山形大学工学部物質化学工学科 助教授)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験 「包接化合物を利用した有機物質の選択的抽出・除去法の開発」
事業名	: ニューウェーブ研究創出事業費補助金
事業主体	: (財)山形県産業技術振興機構
予算規模	: 1,000千円
事業期間	: 平成16年度(1年)
基になった研究シーズ	: 染料廃水の高速脱色のためのパルスパワープラズマ化学分解法の開発
研究者	: 南谷 靖史(山形大学工学部電気電子工学科 助教授)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験 「高効率パルスパワー放電分解廃水処理装置の開発」

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

② 諸事業に展開した例

神奈川県

(1) 文部科学省関係

事業名	: 大学等発ベンチャー創出支援制度
事業主体	: 文部科学省
予算規模	: 120,000千円
事業期間	: 平成14年度～16年度
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバー法を用いた空気洗浄技術と計測技術の開発
研究者	: 田中茂(慶應義塾大学理工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 戦略的創造研究推進事業(さきがけポストク参加型)
事業主体	: 科学技術振興機構 / (独)科学技術振興機構
予算規模	: 25,000千円×3年間
事業期間	: 平成14、15、16年度
基になった研究シーズ	: 局在表面プラズモンを使った高密度バイオセンシングシステム
研究者	: 梶川浩太郎(東京工業大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度RSP事業
事業名	: 委託開発事業
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 210,000千円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 無電解ニッケル合金めっきによるナノメートルオーダーのバリアメタルの形成
研究者	: 本間英夫(関東学院大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業(独創モデル化)
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	: 30,000千円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 無電解ニッケル合金めっきによるナノメートルオーダーのバリアメタルの形成
研究者	: 本間英夫(関東学院大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業プログラムB(独創モデル化)
事業主体	: 科学技術振興機構 / (独)科学技術振興機構
予算規模	: 25,000千円
事業期間	: 平成15年度採択
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバー法を用いた空気洗浄技術と計測技術の開発
研究者	: 田中茂(慶應義塾大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業プログラムB(独創モデル化)
事業主体	: 科学技術振興機構 / (独)科学技術振興機構
予算規模	: 25,000千円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 電気浸透流を駆動力としたカセットテープサイズのポンプ
研究者	: 中里賢一(北里大学、助手)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業プログラムB(独創モデル化)
事業主体	: (独)科学技術振興機構
予算規模	: 30,000千円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバー法を用いた空気洗浄技術と計測技術の開発
研究者	: 田中茂(慶應義塾大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業(技術加工)
事業主体	: 科学技術振興機構 / (独)科学技術振興機構
予算規模	: 2,800千円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 新規画像形成法を基盤とするポリマー光導波路の開発
研究者	: 友井正男 / 大山俊幸(横浜国立大学、教授 / 講師)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
事業名	: 研究成果最適移転事業(技術加工)
事業主体	: (独)科学技術振興機構
予算規模	: 3,000千円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 水の運動エネルギーを利用して駆動する超精密スピンドル装置
研究者	: 中尾陽一(神奈川大学 助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験

(2) 経済産業省関係

事業名	: 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 関東経済産業局
予算規模	: 31,979千円
事業期間	: 平成13年度補正(14年度実施)
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバー法を用いた空気洗浄技術と計測技術の開発
研究者	: 田中茂(慶應義塾大学理工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
事業名	: 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 関東経済産業局
予算規模	: 90,000千円
事業期間	: 13年度補正(14年度実施)
基になった研究シーズ	: 原料液体輸送法を用いた新MOCVD法の開発
研究者	: 舟窪浩(東京工業大学総合理工学研究所)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
事業名	: 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業
事業主体	: 関東経済産業局
予算規模	: 74,000千円
事業期間	: 13年度補正(14年度実施)
基になった研究シーズ	: 溶融塩によるポリ塩化ビニル(PVC)の化学処理システムの開発
研究者	: 朝倉祝治(横浜国立大学工学研究院 教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度新技術フォーラム講演者によるシーズ提供
事業名	: 産業技術実用化開発事業(大学発事業創出実用化研究開発事業)
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 90,000千円 / 2年
事業期間	: 平成14年度、15年度
基になった研究シーズ	: DBFアレーアンテナによるリアルタイム到来方向推定処理技術とその応用
研究者	: 新井宏之(横浜国立大学 工学部 助教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
事業名	: 大学発事業創出実用化研究開発事業
事業主体	: 新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 20,000千円
事業期間	: 平成14年度補正
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 白鳥世明(慶應義塾大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
事業名	: 大学発事業創出実用化研究開発事業
事業主体	: 新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 23,000千円
事業期間	: 平成14年度補正
基になった研究シーズ	: 呼吸複合センシングによる歯周病診断システムの開発
研究者	: 小泉淳一(横浜国立大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度RSP事業育成課題
事業名	: 大学発事業創出実用化研究開発事業(F/S)
事業主体	: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 20,000千円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: マイクロ工作機械用スピンドルの回転精度評価法
研究者	: 三井公之(慶應義塾大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
事業名	: 大学発事業創出実用化研究開発事業
事業主体	: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 20,000千円
事業期間	: 平成16年度第2回
基になった研究シーズ	: マイクロ工作機械用スピンドルの回転精度評価法
研究者	: 三井公之(慶應義塾大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験

(3) その他省庁関係

なし

(4) 都道府県単独事業およびその他事業

なし

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

◎ 諸事業に展開した例

静岡県

(1) 文部科学省関係

事業名	: 革新的技術開発研究推進事業
事業主体	: 文部科学省
予算規模	:
事業期間	: 平成14年度～平成19年度
基になった研究シーズ	: インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発
研究者	: 鈴木康夫(静岡県立大学薬学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 大学発ベンチャー創出推進事業(H15～17)
事業主体	: 文部科学省
予算規模	:
事業期間	: 平成15年度～平成17年度
基になった研究シーズ	: 個別対応型三次元血管モデルの作成
研究者	: 稲川正一(浜松医科大学医学部・助手)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 委託開発事業
事業主体	: 科学技術振興機構 / (独)科学技術振興機構
予算規模	: 150百万
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 長期保存病理検体の染色体解析の新技術について
研究者	: 梶村春彦(浜松医科大学医学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験

事業名	: CREST事業
事業主体	: 科学技術振興事業団
予算規模	:
事業期間	:
基になった研究シーズ	: インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発
研究者	: 鈴木康夫(静岡県立大学薬学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

(2) 経済産業省関係

事業名	: 課題対応新技術研究開発事業
事業主体	: 中小企業総合事業団
予算規模	: 25百万円
事業期間	: 平成13年
基になった研究シーズ	: セキュアな医用画像コラボレーションシステムの実用化研究
研究者	: 水野忠則・西垣正勝(静岡大学情報学部・教授・講師)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 中小ITベンチャー支援事業
事業主体	: 情報処理振興事業協会 / (独)情報処理推進機構
予算規模	:
事業期間	: 平成15年
基になった研究シーズ	: セキュアな医用画像コラボレーションシステムの実用化研究
研究者	: 水野忠則・西垣正勝(静岡大学情報学部・教授・講師)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: マッチングファンド事業
事業主体	: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	: 13百万円
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: バイオフィルム防止用電子制御システム
研究者	: 須藤雅夫(静岡大学工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 産業技術研究助成事業
事業主体	: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
予算規模	:
事業期間	: 平成14年度～平成16年度
基になった研究シーズ	: 気相拡散プロセスによるキャパシタ用複合電極新設計法の開発と評価
研究者	: 岡島敬一(静岡大学工学部・助手)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 地域新生コンソーシアム事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	:
事業期間	: 平成14年度～平成15年度
基になった研究シーズ	: 個別対応型三次元血管モデルの作成
研究者	: 稲川正一(浜松医科大学医学部・助手)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 地域新生コンソーシアム事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 100百万円
事業期間	: 平成16年度～平成17年度
基になった研究シーズ	: マイクロ波プラズマを用いる樹脂製包装容器内滅菌に関する研究
研究者	: 永津雅章(静岡大学工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成16年度育成試験

(3) その他省庁関係

事業名	: 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業
事業主体	: (財)ヒューマンサイエンス振興財団
予算規模	:
事業期間	: 平成13年度～平成14年度
基になった研究シーズ	: インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発
研究者	: 鈴木康夫(静岡県立大学薬学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業
事業主体	: (財)ヒューマンサイエンス振興財団
予算規模	:
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発
研究者	: 鈴木康夫(静岡県立大学薬学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業
事業主体	: (財)ヒューマンサイエンス振興財団
予算規模	:
事業期間	: 平成16年度～平成18年度
基になった研究シーズ	: インフルエンザウイルスの変異機構の解明と変異を克服した次世代抗インフルエンザ薬の開発
研究者	: 鈴木康夫(静岡県立大学薬学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

(4) 都道府県単独事業およびその他事業

事業名	: 課題提案型研究助成事業
事業主体	: (財)スズキ財団
予算規模	:
事業期間	: 平成15年度～平成16年度
基になった研究シーズ	: 気相拡散プロセスによるキャパシタ用複合電極新設計法の開発と評価
研究者	: 岡島敬一(静岡大学工学部・助手)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 産学共同研究開発委託事業
事業主体	: (財)しずおか産業創造機構
予算規模	: 10百万円
事業期間	: 平成14年度
基になった研究シーズ	: 個別対応型三次元血管モデルの作成
研究者	: 稲川正一(浜松医科大学医学部・助手)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験

事業名	: 袋井市助成金事業
事業主体	: 袋井市
予算規模	:
事業期間	:
基になった研究シーズ	: 環境調和型酸化反応の開発とその応用
研究者	: 桐原正之(静岡理工科大学理工学部・助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験

事業名	: 中小企業研究開発事業
事業主体	: (財)しずおか産業創造機構
予算規模	: 5百万円
事業期間	: 平成16年度
基になった研究シーズ	: 大規模災害対策用人工呼吸器の開発
研究者	: 金井直明(東海大学開発工学部・助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験

事業名	: 地域イノベーション促進研究開発事業
事業主体	: (財)しずおか産業創造機構
予算規模	: 30百万円
事業期間	: 平成14年度～平成15年度
基になった研究シーズ	: 血液流動性の定量的評価装置の開発
研究者	: 榊原学(東海大学開発工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験

事業名	: 地域イノベーション促進研究開発事業
事業主体	: (財)しずおか産業創造機構
予算規模	: 30百万円
事業期間	: 平成16年度～平成18年度
基になった研究シーズ	: 食用キノコからの機能性物質の探索とその応用展開
研究者	: 河岸洋和(静岡大学農学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

◎実用化・商品化・起業化された事例

岩手県

(1)実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品(技術)概要	: 歯科用触診圧検出装置
基になった研究シーズ	: 「歯科領域における触診圧検出装置の開発試験」
研究者	: 稲葉大輔(岩手医科大学歯学部助教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: 長田電機工業(株)
製品(技術)概要	: 擬似X線レーザー装置の開発
基になった研究シーズ	: 「次世代準単色X線高分解能透視・撮影システム(H13) 「可搬型高性能X線装置の応用に関する研究(H14)」
研究者	: 佐藤英一(岩手医科大学教養部教授)
基になったRSP活動	: 平成13、14年度育成試験
企業	: トーレック(株)
製品(技術)概要	: セリウム線装置の開発
基になった研究シーズ	: 「次世代準単色X線高分解能透視・撮影システム(H13) 「可搬型高性能X線装置の応用に関する研究(H14)」
研究者	: 佐藤英一(岩手医科大学教養部教授)
基になったRSP活動	: 平成13、14年度育成試験
企業	: トーレック(株)
製品(技術)概要	: 廃棄コンクリート型枠合板からの高吸着性炭化物の製造
基になった研究シーズ	: 「木材の温泉水前処理に基づく活性化木炭の開発」
研究者	: 成田栄一(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)小松組
製品(技術)概要	: 維持管理不要な溪流魚道構造の開発
基になった研究シーズ	: 「維持管理不要な溪流魚道構造の開発」
研究者	: 石井正典(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験
企業	: (有)魚道研究所
製品(技術)概要	: 家畜排泄物の堆肥化処理方法
基になった研究シーズ	: 「畜産排泄物の処理技術の開発」
研究者	: 前田武己(岩手大学農学部助手)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験
企業	: ノード化水(株)、(株)スイート

(2)商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: EzTruer(接触放電ドレッサ)
商品概要	: ダイヤモンド砥石やCBN砥石のツル-イング・ドレッシング装置。ツル-イングは砥石回転軸に対する振れや円高度を修正。ツル-イングされた砥石作業面の目立て。ヌタル砥石のツル-イングドレッシングが可能。砥石のノーズRを20μm以下に、砥石の真円度を5μm以下にできる。
基になった研究シーズ	: 「金型の微細研磨・研磨技術の開発」(H12)
研究者	: 水野雅裕(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: 小林工業(株)
販売実績	: 平成14年12月販売開始。販売量の公表なし。
商品名	: Ezプロテクター(金型等の防食保管装置)
商品概要	: 用途は、鉄系金属のメッキ前処理(防錆剤不要)、鉄系金属の表面処理前処理(防錆剤不要)、鉄系金属の長期保存。特徴は、水中に保管した鉄が発錆しないこと、しばらく循環水中に保管した後は、循環を停止しても保管可能であること、水中から引上げ後、乾燥時に錆が発生しにくいこと、水道水基準クリアする水質で排水時も処理不要であることなど
基になった研究シーズ	: 「金型の防食技術の開発」(H12、13)
研究者	: 八代仁(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験
企業	: 小林工業(株)
販売実績	: 平成14年10月販売開始。3台受注後の公表なし
商品名	: 炭焼名人(可搬型炭焼き釜)
商品概要	: トラックで運搬可能な高効率の炭焼き釜。木炭の生産の他、間伐材・剪定枝の木炭化、流木の木炭化、端材・木皮処理・竹・もみ殻・稲わら等の炭化、流木・建築廃材処理などの用途に使用。
基になった研究シーズ	: 「炭焼き釜エキスパートシステムの開発」(H12)
研究者	: 斎藤弘(岩手大学工学部名誉教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: 蒲野建設(株)
販売実績	: 平成14年10月販売開始。現在まで8台納入。
商品名	: デジタルランドスケープ
商品概要	: 本格的な自然景観シミュレーション用CGソフト
基になった研究シーズ	: 「大規模森林景観のリアルタイムレンダリング法の開発」(H12)
研究者	: 千葉則茂(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: (株)JFP
販売実績	: ソフト22本
商品名	: 「雑穀パン」、「高キビほっぺ」、「へっちょだんご」
商品概要	: 「雑穀パン」は、キビ、アワ、ヒモの3種の雑穀入りのパン。「高キビほっぺ」は、モロコシパン。「へっちょだんご」は、モロコシ菓子。
基になった研究シーズ	: 「雑穀の食品機能性の解明と新健康食品の開発」(H12、13)
研究者	: 西澤直行(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験
企業	: (株)パルセンター(各商品の販売)、白石食品工業(株)(「高キビほっぺ」の製造・販売)、(有)カン牧場(雑穀パンの製造)、菜花堂(「へっちょだんご」も製造)
販売実績	: 公表しない。
商品名	: サビナ(ワイヤー放電加工機用防錆水変換システム)
商品概要	: 腐食イオンの除去と防食イオンを補給するイオン交換樹脂を採用した、ワイヤー放電加工機用防錆水変換システム。
基になった研究シーズ	: 「金型の防食技術の開発」(H12、13)
研究者	: 八代仁(岩手大学工学部助教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験
企業	: 小林工業(株)
販売実績	: 100台強、1300万円(うち樹脂の販売 約260本)
商品名	: フッ化カルシウム入りコンクリート製品
商品概要	: フッ化カルシウム汚泥をコンクリート用増粘剤として再利用する。
基になった研究シーズ	: 「産業廃棄物の建設材料への利用化研究」(H12) 「コンクリート及びアスファルト混合物への無機系産業廃棄物の利用化研究」(H13)
研究者	: 藤原忠志(岩手大学工学部教授)、佐々木秀幸(岩手県工業技術センター主任研究員)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験
企業	: セイナン工業(株)
販売実績	: 2、000万円
商品名	: Volume Extractor Ver. 1.0、2.0(3次元医療画像処理ソフトウェア)
商品概要	: 本システムは、画像処理および等値面生成技術を実装したクラスライブラリーと対話システム部分から構成され、初心者ユーザにも使いやすいユーザインターフェイスを有している。また、ポリウムデータから抽出された領域は、自動的に形状データに変換され、汎用的な出力フォーマットで出力
基になった研究シーズ	: 「3次元ポリウムデータ処理の開発」(H12)
研究者	: 土井章男(岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: (有)ビューテックエンジニアリング
販売実績	: 販売開始(実績は公表しない)
商品名	: iP@TROL(ホームページ改竄防止システム)
商品概要	: 本システムは、デジタル署名による真正性情報を付加する方法によりホームページの改竄を防止する。主な特長はつぎの通り。 ・パトロールサーバーは、インターネットから切離し、独立しているため攻撃は受けない。 ・作成更新用サーバーを、Webサーバーから切離したことにより、一般閲覧者が改竄されたページパトロール間隔の短い時間に見る危険性がない。 ・改竄を検知したときは、システム管理者と該当ホームページ制作者へメール発信する。また、本来のページへ復元するため、常時バックアップデータを保存する。改竄ページは除去し、証拠品として別途保管する
基になった研究シーズ	: 「ホームページ改竄者捕捉に関する研究」(H14)
研究者	: 曾我正和(岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
企業	: (有)シグネ
販売実績	: 販売開始(実績は公表しない)
商品名	: Heart Screening(汎用血流マッピング装置)
商品概要	: 超音波振動子を2次元平面状に配列した探触子で、ドプラー効果を利用して、瞬時に心腔内全体の血流情報を色表示し、心臓の異常、正常の判断が可能となり、また、リアルタイムで測定ができる。本装置は、集団検診・外来診察に適している。
基になった研究シーズ	: 「超音波による血流速度計測装置の開発」(H9～11)
研究者	: 中居賢司(岩手医科大学医学部助教授)、金井浩助(東北大学助教授) 竹内康人(鹿児島大学教授)
基になったRSP活動	: 平成9～11年度RSP可能性試験
企業	: 東京マイクロデバイス(株)
販売実績	: 販売開始(実績は公表しない)
商品名	: 考古遺物形状のデジタル計測・図化システム
商品概要	: 従来手作業で行われていた考古遺物形状の計測・図化作業を、三次元計測や特徴線抽出処理を利用して、効率的かつ高精度に行うものである。
基になった研究シーズ	: 「考古遺物形状のデジタル計測・図化システム」(H14) 「効率的な考古遺物の三次元形状計測手法の開発」(H15)
研究者	: 千葉史(岩手大学工学部助手)
基になったRSP活動	: 平成14、15年度育成試験
企業	: (株)ラング
販売実績	: 販売開始(実績は公表しない)

(3)起業化されたもの(ベンチャー企業等)

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: (有)ビューテックエンジニアリング
企業概要	: 岩手県立大学ソフトウェア情報学部で研究した3次元画像解析技術を柱に、平成14年7月に設立した。資本金300万円、従業員1名。
基になった研究シーズ	: 「3次元ポリウムデータの処理の開発」
研究者	: 土井章男(岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験に採択 平成13年度課題対応促進事業に採択
販売実績	: 公表しない
企業名	: (株)ラング
企業概要	: 考古遺物の実測図作成を、情報工学の技術を用いて、高精度化・省力化を図り実用化した。大学発ベンチャー企業である。
基になった研究シーズ	: 「考古遺物形状のデジタル計測・図化システム」
研究者	: 横山隆三(岩手大学教授)、千葉史(岩手大学助手)
基になったRSP活動	: 平成14、15年度育成試験
販売実績	: 平成15年4月設立、売り上げ公表せず。
企業名	: (有)シグネ
企業概要	: 当社は、岩手県立大学ソフトウェア情報学部で培ったセキュリティ技術を事業化するために設立した研究開発型のベンチャー企業である。現在、育成試験研究をベースに、「ホームページ改竄防止システム」iP@TROLを商品化した。また、「セキュアプロセッサ」を研究開発中である。
基になった研究シーズ	: 「ホームページ改竄者捕捉に関する研究」(H14) 「セキュアプロセッサの開発」(H15) 「コピキス認証チップの開発」(H16)
研究者	: 曾我正和(岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授)
基になったRSP活動	: 平成14、15、16年度育成試験
販売実績	: 平成15年11月設立、販売開始(実績は公表しない)。
企業名	: (株)リムロイドサイエンス
企業概要	: 岩手医科大学における敗血症の重症度判定に関わる研究から、エンドトキシン研究事業を起業化し、併せて、岩手医科大学で培った分析技術を生かして残留農薬検査事業を柱にベンチャー企業を設立した。
基になった研究シーズ	: 「新エンドトキシン組合せ定量法による敗血症の重症度判定法の開発」
研究者	: 遠藤重厚(岩手医科大学高度救命救急センター教授)、稲田捷也((株)リムロイドサイエンス代表取締役)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験
販売実績	: 平成15年6月設立、営業開始(実績は公表しない)
企業名	: (有)鬼沢ファインプロダクト
企業概要	: スリット法による超伝導薄膜のターゲット作製技術を柱に、平成14年5月に設立した。資本金300万円従業員1名
基になった研究シーズ	: 「高品質酸化物薄膜用基板の開発」 「高性能酸化物薄膜用基材の開発」 「スリット法によるナノ制御したZnO薄膜作製技術の開発」
研究者	: 道上修(岩手大学工学部教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験 平成14年度育成試験 平成16年度育成試験
販売実績	: 公表しない
企業名	: (有)魚道研究所
企業概要	: 治山・砂防ダムに設置される魚道に関する調査、設計、施工等のコンサルタント。大学における研究成果を実用化・普及させるために、研究者が自らベンチャー企業を設立した。
基になった研究シーズ	: 「維持管理不要な溪流魚道構造の開発」
研究者	: 石井正典(岩手大学教授)
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験
販売実績	: 平成17年4月設立
企業名	: (有)いわて西澤商店
企業概要	: 食品の製造・販売及び食品に関するコンサルタント。平成17年3月31日設立。
基になった研究シーズ	: 「雑穀の食品機能性と新食品開発・事業化」
研究者	: 西澤直行(岩手大学農学部教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験に採択
販売実績	: 公表しない。

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

◎実用化・商品化・起業化された事例

山形県

(1)実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品(技術)概要	: ずばる望遠鏡の軸受け、直動スライドウェイ
基になった研究シーズ	: RBセラミックスの開発、RBセラミックスのマシナビリティ
研究者	: 堀切川 一男(東北大学大学院 教授) 田中 善衛(山形県工業技術センター 超精密技術科長)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験「新材料RBセラミックスのマシナビリティ」
企業	: 三和油脂(株)、(株)白田製作所

製品(技術)概要	: 糖尿病用看護支援ソフト
基になった研究シーズ	: 医療・看護用クリニカルパスの開発
研究者	: 吉谷 須磨子(山形大学医学部 教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験 「医療・看護業務におけるクリニカルパス電子システムの開発」
企業	: (株)シグマ、(株)NECシステムテクニカ

製品(技術)概要	: モズ蟹の繁殖システム
基になった研究シーズ	: モズ蟹の繁殖システムの開発
研究者	: 本登 渉(山形県水産試験場 専門研究者)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験「モズ蟹繁殖システムの開発」
企業	: 鮭川村

製品(技術)概要	: マグネシウム合金用レオメータ
基になった研究シーズ	: マグネシウム合金レオロジー計測システムの開発
研究者	: 山形大学工学部
基になったRSP活動	: ネットワーク構築型のコーディネート活動
企業	: (株)東洋精機製作所

製品(技術)概要	: 魚箱のリサイクルシステム
基になった研究シーズ	: 発砲ポリスチレンのリサイクルシステムの開発
研究者	: 永田 武史(山形大学大学院VBL)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「魚箱のリサイクルシステムの開発」
企業	: (株)コト東北

製品(技術)概要	: 可搬式簡易雪室
基になった研究シーズ	: 可搬式簡易雪室の開発と雪の貯蔵方法
研究者	: 阿部 清、高橋 亨(山形県農業研究研修センター)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「汎用性を有する簡易雪室の開発と活用方法」 平成15年度育成試験「可搬式簡易雪室の開発」
企業	: 東北産業(株)

製品(技術)概要	: フルトレー用高機能ジョイント
基になった研究シーズ	: 走行安定性に優れた小型牽引車用新規ジョイントの開発
研究者	: 佐藤 啓(新庄自動車(株) 代表取締役)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「走行安定性に優れた小型牽引車用新規ジョイントの開発」
企業	: 新庄自動車(株)

製品(技術)概要	: 指紋採取シートの開発
基になった研究シーズ	: シリコンゴム成形加工 ウレタン樹脂成形加工
研究者	: 草島 晴夫((有)シカ 代表取締役)
基になったRSP活動	: 平成16年度シーズ・ニーズ調査におけるコーディネート活動
企業	: (有)シカ

(2)商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: マイクロPC
商品概要	: 自律分散ネットワーク機器
基になった研究シーズ	: 自律分散ネットワーク機器の開発
研究者	: 金内 秀志(山形県工業技術センター)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験「自律分散ネットワーク機器の開発」
企業	: (株)ハイテックシステム
販売実績	: 非公開

商品名	: すばりにくい安全靴
商品概要	: RBセラミックス入りのゴムを靴のソールに用いた安全靴
基になった研究シーズ	: RBセラミックス材料の開発
研究者	: 堀切川 一男(東北大学大学院 教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験「新材料RBセラミックスのマシナビリティ」
企業	: 青木安全靴製造(株)
販売実績	: 販売個数4,900足

商品名	: basicYK
商品概要	: RBセラミックス入りのゴムを靴のソールに用いた安全靴
基になった研究シーズ	: RBセラミックス材料の開発
研究者	: 堀切川 一男(東北大学大学院 教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験「新材料RBセラミックスのマシナビリティ」
企業	: 宮城興業(株)
販売実績	: 売上個数20,000足

商品名	: 粉末RBセラミックス
商品概要	: RBセラミックス粉末、焼結体の材料
基になった研究シーズ	: RBセラミックス材料の開発
研究者	: 堀切川 一男(東北大学大学院 教授)
基になったRSP活動	: 平成12、13年度育成試験「新材料RBセラミックスのマシナビリティ」
企業	: 三和油脂(株)
販売実績	: 売上数量9t

商品名	: セーブマン
商品概要	: 人形型フィジカルアセスメント教育用シミュレーターの脈拍発生装置
基になった研究シーズ	: フィジカルアセスメント教育用シミュレーターの脈拍発生装置の開発
研究者	: 宇野 廣((株)高研 部長)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「フィジカルアセスメント教育用シミュレーターの脈拍発生装置の開発」
企業	: (株)高研
販売実績	: 売上数量250体

商品名	: アスワン(アズペット、スーパーアズペット)
商品概要	: 有機包括シリケート系エコ・マテリアルの創生
基になった研究シーズ	: 有機包括シリケート系エコ・マテリアルの創生
研究者	: 栗山 卓(山形大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験「有機包括シリケート系エコ・マテリアルの創生」
企業	: 未来化成(株)
販売実績	: 売上数量(不明) 売上金額(不明)

商品名	: ハイブリッド発電システム
商品概要	: 小型風力発電システム
基になった研究シーズ	: 小型風力発電の新しい地域利用に関する研究
研究者	: 丹 省一(鶴岡工業高等専門学校 教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「小型風力発電の新しい地域利用に関する研究」
企業	: (株)石井製作所、(株)エーイーエス、日本道路公団東北支社、三井造船(株)
販売実績	: 売上数量 3台、売上金額 約300万円

商品名	: さくらんぼの恋物語
商品概要	: サクラノボから分離した天然酵母を利用した純米酒
基になった研究シーズ	: さくらんぼ酵母および黒米を用いたアルコール飲料の開発
研究者	: 和田 弥寿子(和田酒造合資会社 研究開発担当)
基になったRSP活動	: 平成16年度育成試験「さくらんぼ酵母および黒米を用いたアルコール飲料の開発」
企業	: 和田酒造合資会社
販売実績	: 平成17年5月より販売開始

(3)起業化されたもの(ベンチャー企業等)

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: パウダーテクノロジー(有)
企業概要	: 資本金800万円、平成14年6月20日会社設立 米粉、その他の穀物粉を主原料とする食品粉体等の販売
基になった研究シーズ	: プラスチック発泡成形技術
研究者	: 小川 清人、高橋 辰宏、西岡 昭博、東野 真由美(山形大学工学部)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「プラスチック発泡成形技術を活用した食品開発」
販売実績	: 売上金額 2,800万円

企業名	: マイクロモグラフィー(株)
企業概要	: 資本金3,000万円、平成14年7月1日会社設立、医療機器製造・販売
基になった研究シーズ	:
研究者	: 陳 建培、秋葉 正博((財)山形県企業振興公社) 丹野 直弘(山形大学工学部)
基になったRSP活動	: ネットワーク構築型の可能性試験からの地域結集型共同研究事業を経て、ベンチャー設立に係るサポート活動
販売実績	: 売上台数 3台、売上金額 1,600万円

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

③実用化・商品化・起業化された事例

神奈川県

(1)実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品(技術)概要	: 病院の病理検査ホルモン含有排水の分解・殺菌処理装置
基になった研究シーズ	: 電子移動触媒ポリアリルを活性酸素発生技術
研究者	: 森田健一((有)オキシド)、斉藤潔(桐蔭横浜大学)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験課題への採択
企業	: (株)常光
製品(技術)概要	: 麻痺患者用歩行補助システム 足にシート状の装置を巻くことで微弱な電流をキャッチし、歩行を助ける
基になった研究シーズ	: 機能的電気刺激による片麻痺患者の歩行再建
研究者	: 慶応義塾大学 富田豊
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験課題への採択
企業	: 非公開
製品(技術)概要	: 食べごろ判定シート 外見からはわかりにくい果物の傷み始めがシートの色の变化でわかる
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 慶応義塾大学 白鳥世明
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験課題への採択
企業	: (株)SNT
製品(技術)概要	: 電気浸透流ポンプを組み込んだバイオチップ
基になった研究シーズ	: 電気泳動法を利用したカセットテープサイズのポンプ
研究者	: 北里大学 中里賢一
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験課題への採択
企業	: (株)神和

(2)商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: 歯周病判定装置「モチベーション」
商品概要	: 歯周病患者呼気の複合センシングによる歯周病進行度の判定装置
基になった研究シーズ	: 呼気中の臭気成分複合センシングによる歯周病進行度の診断
研究者	: 小泉淳一(横浜国立大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
企業	: (株)センス・イット・スマート
販売実績	: なし
商品名	: ホルムアルデヒド比色計セット
商品概要	: 拡散スクラバー法を用いた有害ガスの簡易モニタリング装置
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバー法を用いた空気洗浄技術と計測技術の開発
研究者	: 田中茂(慶応義塾大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)ガステック
販売実績	: なし
商品名	: 低濃度測定用アンモニアガスセンサ
商品概要	: 単体でも使用でき、パソコンと接続でのモニタリングもできる、悪臭センシング
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 白鳥世明(慶応義塾大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)SNT
販売実績	: 公衆トイレ清掃管理用に試験導入
商品名	: 介護システム
商品概要	: ベッドにセンサを配置し、センターで管理するシステム。排泄を感知し速やかに介護者に通知することができるので、高効率で質の高い介護が実現される。価格は、配置するセンサの台数により異なる
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 白鳥世明(慶応義塾大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)SNT
販売実績	: 2つの介護施設で一部導入中
商品名	: 口臭測定用センサ
商品概要	: 現行の口臭評価は、ガスクロマトグラフィーによる高価な計測評価か、医師の主観的なものしかなく、患者と認識の違いによるトラブルが発生していた。これを解決するための、メチルメルカプタンを測定する医用高感度口臭センサ。
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 白鳥世明(慶応義塾大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)SNT
販売実績	: なし
商品名	: NANOWAVE MTS4
商品概要	: 工作実習・研究開発用の超小型精密CNC旋盤
基になった研究シーズ	: 生産機械のマイクロ化に関する研究
研究者	: 北原時雄(湘南工科大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: (株)ナノ
販売実績	: 大学等4台の販売実績有
商品名	: NANOWAVE MTS5、NANOWAVE MTS6
商品概要	: A3サイズCNCマシニングセンタ。MTS5は、分解能0.1μm、3軸の保証精度3μm。MTS6は、分解能1μm、3軸の保証精度10μm。
基になった研究シーズ	: マイクロATCシステムの開発及びマイクロマシニングセンタの試作
研究者	: 北原時雄(湘南工科大学教授)、三井公之(慶応義塾大学教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度、15年度、16年度育成試験
企業	: (株)ナノ
販売実績	: なし
商品名	: リアルタイム3次元観察装置、リアルタイム3次元観察システム
商品概要	: 高速テレビカメラで取得した4ミリ秒ごとの画像8枚で1つの3次元画像を構成し、この3次元画像を連続表示することにより、リアルタイム3次元立体動画画像を映し出すことのできる共焦点顕微鏡システム。
基になった研究シーズ	: リアルタイム4次元(XYZt)立体動画画像観察システムの開発
研究者	: 石田英之(東海大学医学部)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
企業	: イメージワークス(株)
販売実績	: なし

(3)起業化されたもの(ベンチャー企業等)

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: (有)オキシド
企業概要	: 電子移動触媒ポリアリルを用いる活性酸素発生技術のライセンス事業
基になった研究シーズ	: 電子移動触媒を用いる活性酸素発生技術
研究者	: 森田健一((有)オキシド社長)、斉藤潔(桐蔭横浜大学助教授)
基になったRSP活動	: 森田氏と共に研究を行っていた斉藤潔助教授に平成14年度育成試験を委託した。
販売実績	: なし
企業名	: (株)センス・イット・スマート
企業概要	: 横浜国立大学発ベンチャーで、呼気による歯周病の進行度検出技術と、音声による疲労度合検出技術の2つを柱にしている。
基になった研究シーズ	: 呼気複合センシングによる歯周病診断システムの開発
研究者	: 小泉淳一(横浜国立大学教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験、他事業への橋渡し
販売実績	: なし
企業名	: (株)SNT
企業概要	: ナノテクノロジーに関する白鳥研究室の研究を産業界で実用化するため、共同研究のほか自社での製品開発・販売を行っている。
基になった研究シーズ	: ナノ構造制御交互積層法を用いた超高比表面積材料の開発
研究者	: 白鳥世明(慶応義塾大学、助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
販売実績	: なし
企業名	: (株)STAC
企業概要	: 「快適環境創造」をテーマにした有害ガスの計測と除去に関する研究開発、環境コンサルティングの事業
基になった研究シーズ	: 拡散スクラバーによる有害ガスの除去と計測技術
研究者	: 田中茂(慶応義塾大学教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
販売実績	: なし
企業名	: (有)関東学院大学表面工学研究所
企業概要	: 関東学院大学と関東化成工業(株)との共同出資で、産学連携の具現化としての位置づけ。社長は学長。表面処理技術に関する共同研究、ライセンス、人材育成などを行う。
基になった研究シーズ	: 無電解ニッケル合金めっきによるナノメーターオーダーのバリアメタルの形成
研究者	: 本間 英夫(関東学院大学、教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験、他事業への橋渡し
販売実績	: 未公開
企業名	: イメージワークス(株)
企業概要	: リアルタイム3次元観察装置とシステムの販売
基になった研究シーズ	: リアルタイム4次元(XYZt)立体動画画像観察システムの開発
研究者	: 石田英之(東海大学助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験
販売実績	: なし

※他1社(起業後廃業)

地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業 (研究成果育成型)

平成16年度終了地域事後評価報告書

平成17年10月
科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

5. 活動実績(各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成)

(2)地域ごとの活動実績

③実用化・商品化・起業化された事例

静岡県

(1)実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品(技術)概要	: ペーパーセラミックを活用し、アルミ粉末、ガラス粉末を混合し高温で焼成して、多孔質・透水性の良い軽量建設骨材を作る。ペーパーセラミック対策も可能。
基になった研究シーズ	: 混合焼結法による透水性軽量建材の開発
研究者	: 佐々木雅美(東海大学開発工学部・教授)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験
企業	: MoEC研究会; (株)シンコーフレックス、(株)三光、馬淵建設(株)、東海大学、(株)フジハタ、木村土木(株)

製品(技術)概要	: キトサンを用いた新規材料の開発。キトサンの抗菌性、顔料、飾布への応用において、従来粉末でしか利用されていない分野に、新たな展開を可能にする。
基になった研究シーズ	: キトサンコーティング法による新規材料の開発
研究者	: 吉岡寿(静岡県立大学環境化学研究所・教授)
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験
企業	: 天然新素材材料科学研究所(株)

(2)商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: MCnet(Medical Collaboration Network System) 地域医療連携システム
商品概要	: 基幹病院とかかりつけ医の機能を区分し連携医療を進める為に、汎用のパソコンとインターネット回線を用いて低価格で使いやすい医用ネットワークを実現する。患者の医療情報を汎用回線にのせるにあたってのセキュリティも確保する。
基になった研究シーズ	: セキュアな医用画像コラボレーションシステムの実用化研究
研究者	: 水野忠則・西垣正勝(静岡大学情報学部・教授・講師)
基になったRSP活動	: 平成12年度育成試験課題、 中小企業総合事業団の課題対応新技術研究開発事業(平成13年度)へ橋渡し、 IPAの中小企業ITベンチャー支援事業(平成15年度)へ橋渡し
企業	: (株)アールテック
販売実績	: 16百万円

商品名	: 安価で使い易い人工呼吸器
商品概要	: 大規模災害時に初動5分間の人工呼吸に使うもの
基になった研究シーズ	: 大規模災害対策用人工呼吸機器の開発
研究者	: 金井直明(東海大学開発工学部・助教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験課題、 (財)しずおか産業創造機構の中小企業研究開発事業(平成16年度)へ橋渡し
企業	: 横浜ゴム・スカイネット
販売実績	:

商品名	: 骨粗鬆症治療薬の開発に役立つラット
商品概要	: 「レギュカルチン」蛋白の生体内における役割を探索する目的で「レギュカルチン」発現遺伝子を組み込んだ、骨粗鬆症治療薬の開発に役立つラット
基になった研究シーズ	: 特異機能性蛋白質レギュカルチントランスジェニックラットの病態モデル動物としての医薬品開発への応用
研究者	: 山口正義(静岡県立大学生活健康科学研究科・教授)
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験課題、 (財)しずおか産業創造機構の中小企業研究開発事業(平成16年度)へ橋渡し
企業	: (株)日本SLC
販売実績	:

(3)起業化されたもの(ベンチャー企業等)

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: 天然新素材科学研究所(株)
企業概要	: カニ殻からとれる天然の高分子であるキトサンを原料にして、生体に対して毒性を示さず、環境中で生分解される高分子界面活性剤を開発、顔料、飾布、抗菌性などの活用を求め、キトサンを従来粉末でしか活用が出来ない分野に、開発した水溶性キトサンを製造外注して、供給。 平成16年3月天然新素材科学研究所(株)が設立され、平成16年10月15日、同社へ静岡県立大学吉岡教授の経営参画がきまり、静岡県立大学発ベンチャー1号となる。
基になった研究シーズ	: キトサンコーティング法による新規材料の開発(H13)
研究者	: 吉岡寿(静岡県立大学環境科学研究科・教授)
基になったRSP活動	: H13育成試験課題、 (財)しずおか産業創造機構の中小企業研究開発事業(平成17年)へ橋渡し
販売実績	: 平成17年6月に以下商品が発売された、 エミースC ・ヘアコーティングミスト ・ナチュラルソープ

地域振興事業評価委員会委員名簿 (平成17年9月現在)

氏名	所属
別府 輝彦 (委員長)	日本大学 生物資源科学部 教授
岩渕 明	岩手大学大学院 工学研究科 フロンティア材料機能工学専攻 教授
石浦 章一	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 教授
大泊 巖	早稲田大学 理工学部 教授
金井 一頼	大阪大学大学院 経済学研究科教授
小林 健	日本政策投資銀行 新産業創造部長
小松 一彦	NTTアドバンステクノロジー株式会社 先端技術事業本部統括部長
桜井 靖久	東京女子医科大学 名誉教授
鈴木 衛士	日研化学株式会社 顧問
豊玉 英樹	スタンレー電気株式会社取締役 研究開発センター担当
野長瀬 裕二	山形大学大学院 理工学研究科 ものづくり技術経営学専攻 教授
前田 正史	東京大学 生産技術研究所 所長
吉田 豊信	東京大学大学院 工学研究科 マテリアル工学専攻教授
渡辺 公綱	独立行政法人 産業技術総合研究所 生物情報解析研究センター長
渡辺 正孝	慶應義塾大学 環境情報学部 教授
高園 武治	独立行政法人科学技術振興機構審議役